2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月12日

上場会社名　　株式会社ジーテクト　　上場取引所　東
コード番号　　5970　　ＵＲＬ　https://www.g-tekt.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　社長執行役員　（氏名）高尾　直宏
問合せ先責任者　（役職名）常務執行役員　事業管理本部長　（氏名）馬場　猛　　ＴＥＬ　048-646-3400
半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　　2026年12月１日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	175,125	13.3	8,541	91.2	8,584	63.8	5,342	48.3
2026年３月期中間期	154,510	△7.7	4,466	△16.6	5,239	△4.7	3,601	△7.6

（注）包括利益　2027年３月期中間期　3,913百万円（△53.6%）　2026年３月期中間期　8,438百万円（916.5%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	124.76	―
2026年３月期中間期	84.14	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	377,364	241,046	59.5
2026年３月期	372,445	239,443	59.9

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　224,643百万円　2026年３月期　223,208百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	45.00	―	51.00	96.00
2027年３月期	―	49.00			
2027年３月期（予想）			―	49.00	98.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	359,000	7.7	19,200	22.9	18,900	2.3	13,000	△3.4	303.65

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料10ページ「２．中間連結財務諸表及び主な注記（４）中間連結財務諸表に関する注記事項（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	43,931,260株	2026年３月期	43,931,260株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	1,084,408株	2026年３月期	1,118,673株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	42,820,735株	2026年３月期中間期	42,803,610株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・決算補足説明資料については、当社IR情報サイト（URL https://www.g-tekt.jp/ir/index.html）を併せてご参照ください。

＜決算説明資料の入手方法について＞

当社は、2026年11月18日に機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。この決算説明会で使用する資料については、本日、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
中間連結損益計算書 …… 7
中間連結包括利益計算書 …… 8
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（会計方針の変更に関する注記） …… 10
（会計上の見積りの変更に関する注記） …… 10
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 10
（セグメント情報等の注記） …… 11
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 12
（継続企業の前提に関する注記） …… 12

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における世界経済は、中東情勢の緊張長期化によるエネルギー価格上昇や金融引締めの影響が残るなか、地域・産業間で成長格差が見られたものの、全体としては底堅く推移しました。国内経済は、企業収益の改善や賃上げを背景に個人消費及び設備投資が持ち直し、緩やかな回復が続きました。

自動車業界においては、BEV市場の成長鈍化を受けて一部完成車メーカーで電動化戦略の見直しが進む一方、ハイブリッド車を含む多様なパワートレインへの需要が継続しました。また、SDVの進展に伴うソフトウェア・電子制御分野への投資拡大や、中国完成車メーカーの台頭による競争激化など、事業環境は大きな変革期を迎えております。このような状況のなか、自動車部品メーカーには、電動化対応に加え、品質・コスト競争力の強化やグローバルでの供給体制の最適化が一層求められております。

このような環境において、当中間連結会計期間における業績は、中国セグメントとアジアセグメントで減産があったものの、日本セグメント等での増産に加え、金型・設備等の車種開発売上の増加や為替の影響もあって、売上高は175,125百万円（前年同期比13.3%増）となりました。営業利益は、インフレによる労務費の高騰等の影響があったものの、増産効果に加え、車種開発の利益貢献もあり、8,541百万円（前年同期比91.2%増）となりました。経常利益は、円高による為替差損の計上等により、8,584百万円（前年同期比63.8%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は、5,342百万円（前年同期比48.3%増）と増益となりました。

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①日本

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	32,607	38,725	6,118	18.8%
営業利益	1,793	4,435	2,642	147.4%

前期との主な増減要因

売上高　　得意先の生産台数の増加に加え、金型等の車種開発売上の増加により、増収となりました。

営業利益　労務費の上昇や稼働費用の増加等があったものの、増産効果に加え、車種開発売上の計上もあり増益となりました。

②北米

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	58,141	77,491	19,349	33.3%
営業利益	1,896	4,655	2,759	145.5%

前期との主な増減要因

売上高　　得意先の生産台数の増加に加え、金型等の車種開発売上の増加により増収となりました。

営業利益　増産対応のため労務費や諸経費が増加したものの、増産効果に加え、車種開発売上の増加もあり増益となりました。

③欧州

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	16,341	19,973	3,631	22.2%
営業利益	347	772	425	122.3%

前期との主な増減要因

売上高　　試作等の車種開発売上が減少したものの、得意先の生産台数の増加や為替影響により増収となりました。

営業利益　労務費の高騰や諸経費の増加があったものの、増産効果により増益となりました。

④アジア

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	19,041	18,087	△953	△5.0%
営業利益	694	114	△580	△83.5%

前期との主な増減要因

売上高　　主要な得意先の生産台数の減少に加え、金型・試作等の車種開発売上の減少もあり、減収となりました。

営業利益　減産影響に加え、労務費や諸経費の増加もあり、減益となりました。

⑤中国

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	25,121	18,772	△6,348	△25.3%
営業損失（△）	△594	△1,374	△780	－

前期との主な増減要因

売上高　　金型等の車種開発売上の増加があったものの、主要得意先の大幅減産により減収となりました。

営業損失　労務費、減価償却費等諸経費の削減を図ったものの、減産による影響が大きく、営業損失が拡大しました。

⑥南米

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間	当中間連結会計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	9,181	11,981	2,800	30.5%
営業利益	511	412	△99	△19.4%

前期との主な増減要因

売上高　　得意先の新機種量産開始に伴う生産台数増加に加え、為替影響もあり、増収となりました。

営業利益　新機種量産開始対応のため労務費や諸経費が一時的に増加し、減益となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末より4,919百万円増加し、377,364百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金並びに工具、器具及び備品（純額）が減少した一方、現金及び預金、建物及び構築物（純額）、仕掛品並びに投資有価証券の増加によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末より3,316百万円増加し、136,318百万円となりました。これは主に、短期借入金が減少した一方、長期借入金（１年内返済予定の長期借入金を含む）及び流動負債のその他の増加によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末より1,602百万円増加し、241,046百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定が減少した一方、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の増加によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ、4,282百万円増加し、41,538百万円となりました。

当中間連結会計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動のキャッシュ・フローは、27,124百万円の収入となりました。主な収入は、税金等調整前中間純利益8,172百万円、減価償却費9,866百万円、売上債権の減少額8,197百万円、前受金の増加額7,376百万円です。

前年同中間連結会計期間に対して 15,003百万円の収入の増加となりました。主な要因は、売上債権の減少額の増加、前受金の増加額の増加によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動のキャッシュ・フローは、17,184百万円の支出となりました。主な支出は、定期預金の純増2,582百万円、有形固定資産の取得13,937百万円です。

前年同中間連結会計期間に対して 3,321百万円の支出の減少となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出の減少です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動のキャッシュ・フローは、4,923百万円の支出となりました。主な支出は、短期借入金の純減13,903百万円、長期借入金の返済4,084百万円です。

前年同中間連結会計期間に対して 9,080百万円の支出の増加となりました。主な要因は、短期借入金の減少です。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の通期連結業績予想につきましては、2026年５月15日発表の予想値から変更していません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48,131	54,522
受取手形及び売掛金	53,380	44,694
製品	2,131	2,110
仕掛品	38,002	40,243
原材料	4,412	4,844
貯蔵品	2,100	2,376
その他	7,332	6,917
流動資産合計	155,492	155,710
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	145,455	151,468
減価償却累計額	△61,920	△63,233
建物及び構築物（純額）	83,534	88,234
機械装置及び運搬具	235,355	235,907
減価償却累計額	△181,842	△182,922
機械装置及び運搬具（純額）	53,513	52,985
工具、器具及び備品	164,480	160,838
減価償却累計額	△155,600	△153,730
工具、器具及び備品（純額）	8,880	7,107
土地	16,862	16,675
建設仮勘定	36,721	36,243
有形固定資産合計	199,511	201,247
無形固定資産	1,945	2,470
投資その他の資産		
投資有価証券	11,715	13,104
退職給付に係る資産	2,367	2,432
その他	1,413	2,399
投資その他の資産合計	15,496	17,936
固定資産合計	216,953	221,654
資産合計	372,445	377,364

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	33,650	30,185
短期借入金	28,524	14,360
１年内返済予定の長期借入金	13,663	17,286
未払金	9,701	10,376
未払法人税等	1,300	1,821
賞与引当金	1,749	2,423
その他	13,349	21,241
流動負債合計	101,939	97,694
固定負債		
長期借入金	19,353	27,101
退職給付に係る負債	1,592	1,567
役員株式給付引当金	588	574
その他	9,528	9,380
固定負債合計	31,063	38,624
負債合計	133,002	136,318
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,656	4,656
資本剰余金	23,622	23,622
利益剰余金	140,842	143,971
自己株式	△1,953	△1,894
株主資本合計	167,167	170,355
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,462	2,569
繰延ヘッジ損益	－	45
為替換算調整勘定	53,249	50,495
退職給付に係る調整累計額	1,329	1,177
その他の包括利益累計額合計	56,041	54,287
非支配株主持分	16,234	16,402
純資産合計	239,443	241,046
負債純資産合計	372,445	377,364

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	154,510	175,125
売上原価	141,097	156,429
売上総利益	13,413	18,696
販売費及び一般管理費	8,946	10,154
営業利益	4,466	8,541
営業外収益		
受取利息	443	377
受取配当金	125	139
為替差益	12	－
持分法による投資利益	447	330
作業くず売却益	148	246
その他	202	287
営業外収益合計	1,379	1,383
営業外費用		
支払利息	548	846
為替差損	－	443
その他	57	50
営業外費用合計	606	1,340
経常利益	5,239	8,584
特別利益		
固定資産売却益	41	22
投資有価証券売却益	0	－
特別利益合計	41	22
特別損失		
固定資産売却損	19	2
固定資産除却損	76	－
早期割増退職金	198	432
特別損失合計	293	435
税金等調整前中間純利益	4,987	8,172
法人税等	1,255	1,998
中間純利益	3,732	6,174
非支配株主に帰属する中間純利益	130	832
親会社株主に帰属する中間純利益	3,601	5,342

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	3,732	6,174
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	505	1,106
繰延ヘッジ損益	△10	72
為替換算調整勘定	4,345	△3,180
退職給付に係る調整額	△105	△152
持分法適用会社に対する持分相当額	△29	△107
その他の包括利益合計	4,706	△2,260
中間包括利益	8,438	3,913
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	7,833	3,588
非支配株主に係る中間包括利益	604	324

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	4,987	8,172
減価償却費	9,580	9,866
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△164	△251
賞与引当金の増減額（△は減少）	578	697
受取利息及び受取配当金	△568	△517
支払利息	548	846
持分法による投資損益（△は益）	△447	△330
投資有価証券売却損益（△は益）	△0	－
固定資産除売却損益（△は益）	53	△20
早期割増退職金	198	432
売上債権の増減額（△は増加）	4,470	8,197
棚卸資産の増減額（△は増加）	△7,880	△3,478
仕入債務の増減額（△は減少）	△923	△2,852
未収又は未払消費税等の増減額(△は減少)	△384	394
前受金の増減額（△は減少）	4,137	7,376
未払金の増減額（△は減少）	996	790
その他	158	1,093
小計	15,340	30,415
利息及び配当金の受取額	1,034	930
利息の支払額	△516	△848
早期割増退職金の支払額	△198	△432
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△3,538	△2,939
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,121	27,124
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額（△は増加）	△3,603	△2,582
有形固定資産の取得による支出	△16,535	△13,937
有形固定資産の売却による収入	85	45
無形固定資産の取得による支出	△383	△685
投資有価証券の取得による支出	△66	△5
投資有価証券の売却による収入	0	－
その他	△2	△18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,506	△17,184
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	4,444	△13,903
長期借入れによる収入	7,433	15,660
長期借入金の返済による支出	△5,161	△4,084
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△176	△224
配当金の支払額	△2,168	△2,213
非支配株主への配当金の支払額	△214	△156
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,157	△4,923
現金及び現金同等物に係る換算差額	680	△734
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△3,547	4,282
現金及び現金同等物の期首残高	31,201	37,255
現金及び現金同等物の中間期末残高	27,653	41,538

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更に関する注記）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更に関する注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ 前中間連結会計期間（自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	27,336	57,933	16,171	18,888	24,998	9,181	154,510
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,271	208	169	152	122	－	5,924
計	32,607	58,141	16,341	19,041	25,121	9,181	160,434
セグメント利益又は損失（△）	1,793	1,896	347	694	△594	511	4,650

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	4,650
セグメント間取引消去等	△183
中間連結損益計算書の営業利益	4,466

Ⅱ 当中間連結会計期間（自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	29,414	77,351	19,754	18,065	18,557	11,981	175,125
セグメント間の内部売上高又は振替高	9,311	139	218	21	214	－	9,906
計	38,725	77,491	19,973	18,087	18,772	11,981	185,032
セグメント利益又は損失（△）	4,435	4,655	772	114	△1,374	412	9,017

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	9,017
セグメント間取引消去等	△475
中間連結損益計算書の営業利益	8,541

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

該当事項はありません。

当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。